薬剤情報 No.37

令和7年3月13日(木)

1)新規採用医薬品

なし

2) 仮採用医薬品

なし

3) 剤型・規格 変更/追加 医薬品

| 剤型変更追加・メーカー変更薬 | 既採用薬 | 備考 |
|-------------------------------|------------------------|-----------|
| テリパラチド BS 皮下注キット 600 μ g「モチダ」 | フォルテオ皮下注キット 600 μ g | |
| チラーヂン S 錠 25 μ g | チラーヂン S 錠 50 μ g | |
| 生食注シリンジ「NP」20mL | 生食注シリンジ「オーツカ」10mL | 10mL 供給不良 |
| 大塚生食注 100mL1 瓶 | 大塚生食注 2 ポート 100mL | 2ポート供給不良 |
| | 生理食塩液 PL「フソー」 100mL1 瓶 | |

4)メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

| ドブタミン持続静注 300mg シリンジ「KKC」 ポビドンヨードゲル 10%「VTRS」 | 製造中止 |
|--|---|
| ポビドンヨードゲル 10%「VTRS」 | [vmpq · W·w\ Z·b |
| | 「VTRS」供給不良 |
| ケフレックスカプセル 250mg | ケフレックス供給不良 |
| イグザレルトOD錠10mg | |
| イグザレルトOD錠15mg | |
| ハルナール D 錠 0.1mg | |
| ハルナール D 錠 0.2mg | |
| エパデールカプセル 300 | |
| エパデール S600 | |
| エパデール S900 | |
| ロキソニンパップ 100mg | |
| ロキソニンテープ 50mg | |
| ロキソニンテープ 100mg | |
| ラキソベロン内用液 0.75% |] |
| | ケフレックスカプセル 250mg イグザレルト OD 錠 10mg イグザレルト OD 錠 15mg ハルナール D 錠 0.1mg ハルナール D 錠 0.2mg エパデールカプセル 300 エパデール S600 エパデール S900 ロキソニンパップ 100mg ロキソニンテープ 50mg |

5)院外限定採用医薬品(剤型追加)

| 医薬品名 | 効能·効果 | 用法·用量 |
|----------------------|--------------------------|---------------------------|
| ソリクア配合注ソロスター | 〈効能効果〉インスリン療法が適応となる2型料 | 唐尿病 |
| (インスリングラルギン/リキシセナチド) | 〈用法用量〉通常、成人には、5~20ドーズ(イ | ′ンスリングラルギン/リキシセナチドとして5~ |
| 糖尿病薬配合注射剤(インスリン製剤・G | 20 単位/5~20 μg)を1日1回朝食前に皮 | 下注射する。ただし、1 日 1 回 5~10ドーズ |
| LP-1 受容体作動薬) | から開始し、患者の状態に応じて増減するが、 | 、1 日 20ドーズを超えないこと。 |
| 薬価:5,315 円/1 キット | なお、本剤の用量単位である1ドーズには、 | インスリングラルギン 1 単位及びリキシセナチ |
| サノフィ | ド 1 μ g が含まれる。 | |

| キャブピリン配合錠 | 〈効能効果〉下記疾患又は術後における血栓・塞栓形成の抑制(胃潰瘍又は十二指腸潰 |
|------------------------------|--|
| (アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩) | 瘍の既往がある患者に限る)●狭心症(慢性安定狭心症、不安定狭心症)、心筋梗塞、虚 |
| 血小板凝集阻害薬·PPI 配合剤 | 血性脳血管障害(一過性脳虚血発作(TIA)、脳梗塞)●冠動脈バイパス術(CABG)あるい |
| 薬価:98.40 円/1 錠 | は経皮経管冠動脈形成術(PTCA)施行後 |
| 武田薬品工業 | 〈用法用量〉通常、成人には1日1回1錠(アスピリン/ボノプラザンとして100mg/10mg) |
| | を経口投与する。 |
| エクロックゲル 5% 40g | 〈効能効果〉原発性腋窩多汗症 |
| (ソフピロニウム臭化物) | 〈用法用量〉1日1回、適量を腋窩に塗布する。 |
| 原発性腋窩多汗症治療剤(抗コリン薬) | |
| 薬価:241.30 円/1g 9652 円/40g1 本 | |
| 科研製薬 | |

| 医薬品名 | 備考 |
|---------------------|------------|
| ツムラ加味逍遙散エキス顆粒(医療用) | |
| 酸化マグネシウム細粒 83%「ヨシダ」 | |
| ロキソニンパップ 100mg | 採用薬からの切り替え |
| ロキソニンテープ 50mg | |
| ロキソニンテープ 100mg | |

6) 患者限定採用医薬品

| 医薬品名 | 効能·効果 | 用法·用量 |
|------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| リクラスト点滴静注液 5mg | 〈効能効果〉骨粗鬆症 | |
| (ゾレドロン酸水和物) | 〈用法用量〉通常、成人には1年に1回5mg | を 15 分以上かけて点滴静脈内投与する。 |
| ビスホスホネート系骨代謝改善薬 | | |
| 薬価:33,986/1 袋 | | |
| 旭化成ファーマ | | |
| ツムラ防已黄耆湯エキス顆粒(医療用) | 〈効能効果〉色白で筋肉軟らかく水ぶとりの体 | 質で疲れやすく、汗が多く、小便不利で下肢 |
| (防已黄耆湯エキス顆粒) | に浮腫をきたし、膝関節の腫痛するものの次の | の諸症:腎炎、ネフローゼ、妊娠腎、陰嚢水 |
| 漢方製剤 | 腫、肥満症、関節炎、癰、せつ、筋炎、浮腫、 | 皮膚病、多汗症、月経不順 |
| 薬価:9.60円/1g 24円/2.5g1包 | <用法用量>通常、成人1日 7.5gを 2~3 回に | こ分割し、食前又は食間に経口投与する。な |
| ツムラ | お、年齢、体重、症状により適宜増減する。 | |
| アルドメット錠 250 | 〈効能効果〉高血圧症(本態性)、高血圧症(腎 | 脊性等)、悪性高血圧 |
| (メチルドパ水和物) | <用法用量>通常成人初期1日250~750mg | の経口投与からはじめ、適当な降圧効果が |
| 血圧降下薬(交感神経中枢抑制薬) | 得られるまで数日以上の間隔をおいて1日2 | 50mg ずつ増量する。通常維持量は1日 25 |
| 薬価:16.80 円/1 錠 | 0~2,000mg で 1~3 回に分割経口投与する。 | なお、年齢、症状により適宜増減する。 |
| ミノファーゲン製薬 | | |
| アブリスボ筋注用 | 〈効能効果・用法用量〉●妊婦への能動免疫は | こよる新生児及び乳児における RS ウイルス |
| (組換え RS ウイルスワクチン) | を原因とする下気道疾患の予防:抗原製剤を | 専用溶解用液全量で溶解後、妊娠 24~36 |
| 薬価基準未収載 | 週の妊婦に、1回0.5mLを筋肉内に接種する | 5。 ●60 歳以上の者における RS ウイルスに |
| ファイザー | よる感染症の予防:抗原製剤を専用溶解用液 | 全量で溶解後、1回 0.5mL を筋肉内に接種 |
| | する。 | |
| ナルサス錠 6mg | 〈効能効果〉中等度から高度の疼痛を伴う各種 | 重癌における鎮痛 |
| (ヒドロモルフォン塩酸塩徐放錠) | 〈用法用量〉通常、成人には4~24mgを1日 | 1回経口投与する。なお、症状に応じて適 |
| 持続性がん疼痛治療剤 | 宜増減する。 | |
| 薬価:540.00 円/1 錠 | | |
| 第一三共 | | |

| ナルラビジ 1mg | /効能効果/由学度がよう真確の疾症を伴う久種痕における値度 |
|-----------------------|--|
| ナルラピド錠 1mg | 〈効能効果〉中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 |
| (ヒドロモルフォン塩酸塩錠) | 〈用法用量〉通常、成人には1日4~24mgを4~6回に分割経口投与する。なお、症状に |
| がん疼痛治療剤 | 応じて適宜増減する。 |
| 薬価:112.60 円/1 錠 | |
| アドシルカ錠 20mg | 〈効能効果〉肺動脈性肺高血圧症 |
| (タダラフィル) | 〈用法用量〉通常、成人には1日1回 40mg を経口投与する。 |
| 肺高血圧症治療薬(ホスホジエステラー | |
| ゼ5阻害薬) | |
| 薬価:980.50 円/1 錠 | |
| 日本新薬 | |
| セパミット-R 細粒 2% | 〈効能効果・用法用量〉●本態性高血圧症:通常、成人には1回10~20mgを1日2回食 |
| (ニフェジピン腸溶細粒) | 後経口投与する。なお、症状により適宜増減する。 ●狭心症:通常、成人には 1 回 20mg |
| カルシウム拮抗剤 | を1日2回食後経口投与する。なお、症状により適宜増減する。 |
| 薬価:35.60 円/1g | |
| 日本ジェネリック | |
| プリモボラン錠 5mg | 〈効能効果〉●骨粗鬆症●下記疾患による著しい消耗状態:慢性腎疾患、悪性腫瘍、外 |
| (メテノロン酢酸エステル) | 傷、熱傷●下記疾患による骨髄の消耗状態:再生不良性貧血 |
| 経口蛋白同化ステロイド剤 | 〈用法用量〉通常、成人1日10~20mgを2~3回に分割経口投与する。なお、年齢、症 |
| 薬価:12.10 円/1 錠 | 状により適宜増減する。 |
| バイエル薬品 | |
| ラツーダ錠 40mg | 〈効能効果・用法用量〉●統合失調症:通常、成人には 40mg を 1 日 1 回食後経口投与す |
| (ルラシドン塩酸塩) | る。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 80mg を超えないこと。 ●双極性障 |
| 双極性障害のうつ症状治療薬 | 害におけるうつ症状の改善:通常、成人には20~60mgを1日1回食後経口投与する。 |
| (セロトニンドパミン拮抗薬) | なお、開始用量は 20mg、増量幅は 1 日量として 20mg とし、年齢、症状により適宜増減す |
| 薬価:302.60 円/1 錠 | るが、1 日量は 60mg を超えないこと。 |
| 住友ファーマ | |
| ハルロピテープ 24mg | 〈効能効果〉パーキンソン病 |
| (ロピニロール塩酸塩) | 〈用法用量〉通常、成人には1日1回 8mg から始め、以後経過を観察しながら、必要に応 |
| 経皮吸収型ドパミン作動性パーキンソン | じて1週間以上の間隔で、1日量として 8mg ずつ増量する。 いずれの投与量の場合も1 |
| 病治療剤 | 日 1 回、胸部、腹部、側腹部、大腿部又は上腕部のいずれかの皮膚に貼付し、24 時間毎 |
| 薬価:610.90 円/24 mg 1 枚 | に貼り替える。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量 64mg を超えないこととす |
| 協和キリン | S. |
| 100 TO 1 7 4 | 1 90 |

7)削除医薬品

| 医薬品名 | 備考 |
|---------------------------|--------------------------------|
| EPL カプセル 250mg | 製造中止 |
| ハイパジールコーワ錠3 | 限定患者退院 |
| ザファテック錠 100mg | 使用実績なし |
| ベガモックス点眼液 0.5% | クラビット点眼液 0.5%・ガチフロ点眼液 0.3%採用あり |
| ドブタミン持続静注 300mg シリンジ「KKC」 | ドブタミン持続静注 300mg シリンジ「テルモ」に切り替え |
| ポビドンヨードゲル 10%「VTRS」 | ポビドンヨードゲル 10%「ケンエー」に切り替え |
| イグザレルト OD 錠 10mg | リバーロキサバン OD 錠 10mg「バイエル」に切り替え |
| イグザレルト OD 錠 15mg | リバーロキサバン OD 錠 15mg「バイエル」に切り替え |
| ハルナール D 錠 0.1mg | タムスロシン塩酸塩 OD 錠 0.1mg「日医工」に切り替え |
| ハルナール D 錠 0.2mg | タムスロシン塩酸塩 OD 錠 0.2mg「日医工に切り替え」 |
| ケフレックスカプセル 250mg | セファレキシン錠 250mg「日医工」に切り替え |
| エパデールカプセル 300 | イコサペント酸エチルカプセル 300mg「日医工」に切り替え |

| エパデール S600 | イコサペント酸エチル粒状カプセル 600mg「日医工」に切り替え |
|-----------------|----------------------------------|
| エパデール S900 | イコサペント酸エチル粒状カプセル 900mg「日医工」に切り替え |
| ラキソベロン内用液 0.75% | ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「イワキ」に切り替え |

8)がん化学療法レジメン追加について

なし

9)その他

患者限定解除 : セララ錠 25mg、フェロ・グラデュメット錠 105mg、カチーフ N 錠 5mg ミオコールスプレー0.3mg 供給停止

10) 効能効果等の改訂のお知らせ (2024.12~2025.2)

| ランダ注 10mg/20mL、50mg/100mL | 尿路上皮癌に対する効能等追加 |
|---------------------------|--|
| | 他の抗悪性腫瘍剤(オプジーボ等)との併用療法によるシスプラチン通常療法の追加 |
| リクシアナ OD 錠 15mg、30mg、60mg | 慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における血栓・塞栓形成の抑制に対する効能等追加 |
| テセントリク点滴静注 840mg、1200mg | 切除不能な胞巣状軟部肉腫に対する効能等追加 |
| ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.4mL、 | X 線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎に対する効能等追加 |
| ペン 0.4mL | 事前評価済公知申請品目 |

11) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2024.12~2025.2)

| ベクルリー | 【特定の背景を有する患者に関する注意】腎機能障害患者の項:「腎機能障害を有する |
|--------------------|--|
| | 患者を対象とした臨床試験は実施していない旨」「重度の腎機能障害患者への投与を推 |
| | 奨せず、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与を考慮する旨」 |
| | 削除 |
| | 【薬物動態】「腎機能障害患者におけるレムデシビル等の薬物動態」追記 |
| ラゲブリオ | 【重要な基本的注意】「妊娠する可能性のある女性への投与について、投与の必要性を |
| | 十分に検討」「投与が必要な場合には、投与開始前に十分な問診により患者が妊娠して |
| | いないこと及び妊娠している可能性がないことを確認」等追記 |
| ゾコーバ | 【重要な基本的注意】「妊娠する可能性のある女性への投与について、投与の必要性を |
| | 十分に検討」「投与が必要な場合には、投与開始前に十分な問診により患者が妊娠して |
| | いないこと及び妊娠している可能性がないことを確認」等追記 |
| ジェムザール | 【重大な副作用】「中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis:TEN)」「皮膚粘 |
| | 膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)」追記 |
| プロスタール | 【重要な基本的注意】「髄膜腫に関する注意喚起」追記 |
| | 【特定の背景を有する患者に関する注意】合併症・既往歴等のある患者の項:「髄膜腫又 |
| | はその既往歴のある患者」追記 |
| | 【その他の注意】臨床使用に基づく情報の項:「海外疫学調査の結果」追記 |
| ジャディアンス、フォシーガ、スーグラ | 【重要な基本的注意】「投与中止後の尿中グルコース排泄及びケトアシドーシスの持続に |
| | 関する注意喚起」追記 |
| セララ (エプレレノン) | 【禁忌】【併用禁忌】高血圧症の項:カリウム製剤について「放射性ヨウ素による甲状腺の |
| | 内部被曝の予防・低減に使用する場合のヨウ化カリウムを除く」追記 |
| | 【併用注意】高血圧症の項:「ヨウ化カリウム(放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝の予 |
| | 防・低減に使用する場合)」追記 |

| 禁忌】【併用禁忌】ヨウ化カリウムについて「放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝の予 |
|--|
| ・低減に使用する場合を除く」追記 |
| 并用注意】「ヨウ化カリウム(放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝の予防・低減に使用 |
| る場合)」追記 |
| 禁忌】【併用禁忌】「エプレレノン(高血圧症)、エサキセレノンを投与中の患者」削除 |
| #用注意】エプレレノンについて「慢性心不全」削除、「エサキセレノン」追記 |
| 寺定の背景を有する患者に関する注意】合併症・既往歴等のある患者の項:「本剤の成 |
| に対し過敏症の既往歴のある患者」追記 |
| 重大な副作用】「アナフィラキシー」追記 |
| 重大な副作用】「血小板減少症」追記 |
| 寺定の背景を有する患者に関する注意】合併症・既往歴等のある患者の項:「本剤の成 |
| に対し過敏症の既往歴のある患者(チアミン塩化物塩酸塩に対し過敏症の既往歴の |
| る患者を除く)」追記 |
| 重大な副作用】「アナフィラキシー」追記 |
| 重大な副作用】「免疫性血小板減少症」追記 |
| 重大な副作用】「肝機能障害」追記 |
| |

12)院内副作用報告(2024.12~2025.2)

【当院処方事例のみ記載】

| ロキソニン | 肝機能障害 |
|-------|-------|
|-------|-------|